

都市像「未来を創るイノベティブ都市」とは

堺は、古代は当時の最新技術を駆使した大規模古墳の築造、中世から近代にかけては、「ものの始まりなんでも堺」と言われたようにイノベーションを生み出してきた都市である。今後、人口減少や高齢化などにより厳しい都市経営が予想される中、本市が将来において持続的に発展し、暮らしやすい都市であるためには、先人から受け継いだ堺の貴重な資源や可能性を最大限に活かして挑戦することにより、未来に向かってイノベーションを生み続けなければならない。

時代の変化を的確に捉え、柔軟に対応しながら、変化を恐れず、果敢に挑戦・創造し続ける本市の都市像として「未来を創るイノベティブ都市」を掲げる。



- 堺にはイノベーションが生まれる土壌と可能性があり、現在、そして将来においてもイノベティブ都市であり続けたいとの思いを込めている。
- 都市像は将来実現する都市の姿ではなく、現在進行形であり続ける都市の姿を示す。

## 【市政におけるイノベーションの意味】

- 産業における技術革新や新事業創出などに限らず、福祉、教育、都市整備など**全ての分野において新しいアイデアや手法、技術などを積極的に取り入れて、新たな価値の創出や変革をもたらすこと**

＜参考＞ 広辞苑

イノベーション【innovation】

- ①刷新。革新。新機軸。
- ②生産技術の革新・新機軸に限らず、新商品の導入、新市場・新資源の開拓、新しい経営組織の形成などを含む概念。シュンペーターが用いた。日本では技術革新という狭い意味に用いることもある。

## 【イノベーションを創出する意義】

- 人口減少・高齢化の進行などにより、今後も大変厳しい都市経営が予想され、**現状のまま挑戦しなければ、将来は現状維持もままならず、衰退してしまう恐れがあるという強い危機感**をもっている。
- そうした背景のもと、**変化を恐れず果敢に挑戦し、市民の暮らしや地域社会、経済等に新たな価値や変革（イノベーション）を生み出し続けることで、将来にわたって持続的に発展し、暮らしやすい都市を実現する。**